

- 水資源機構 -

国内最大級のCFRD（表面遮水壁型ロックフィルダム）である南摩ダムを建設中！

1. はじめに

南摩ダムは、栃木県鹿沼市を流れる南摩川に建設中のコンクリート表面遮水壁型ロックフィルダム（CFRD：Concrete Face Rockfill Dam）で、洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給を目的とした多目的ダムである。ダムは、堤高86.5m、堤頂長359m、総貯水量5,100万 m^3 であり、令和2年12月から本体工事に着手し、令和6年度からの試験湛水に向けて施工を進めている。

2. CFRDとは

我が国のロックフィルダムは、中央土質遮水壁型ロックフィルダム（ECRD：Eath Core Rockfill Dam）が一般的であり、中央にあるコアが遮水機能を有する部分にあたる。それに対し、南摩ダムのダム型式であるCFRDは、ダム上流側のコンクリート表面床版（コンクリートフェイススラブ）が遮水のための構造物となる。南摩ダムは、近代的な薄層転圧工法を用いたCFRD型式の「本格的なダム」としては、全国で初めてのダムである。



南摩ダム完成イメージ（湛水前の上流側）

3. ダムの基礎掘削を実施中

現在、ダム本体の盛立に先立ち、ダムサイトの基礎掘削を行っている。掘削量は、全体で約100万 m^3 であり、令和3年2月から掘削を開始し、現在（5月13日時点）までに約17万 m^3 （進捗率約17%）の掘削を完了している。



基礎掘削開始前（令和元年9月）と現在（令和3年5月）のダムサイト

掘削には63 t 級リッパ付ブルドーザや46 t 級重ダンプトラックなど、通常見られない大型重機を使用している。また、ロック材の盛立時には、盛立材の積込から運搬・まき出し・転圧までメーカーが異なる各種の自動運転建設機械を連動して作業することを可能とする新システム「T-iCraft（大成建設）」が本格導入される予定である。



46 t 級重ダンプトラック

4. 工事現場の見学

基礎掘削を含む本体建設工事の様子は、ダムサイト展望広場から一望できるため、日々移り変わる大迫力の工事現場を是非見に来ていただきたい。また、お越しの際は、かぬまブランドに認定されている「ニラそば」も是非とも味わっていただきたい。

思川開発事業 工事現場ライブカメラ：
<https://omoigawa-cam.arksystem.jp/>



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所 ダム工事課
 おおきき あい
 大崎 愛